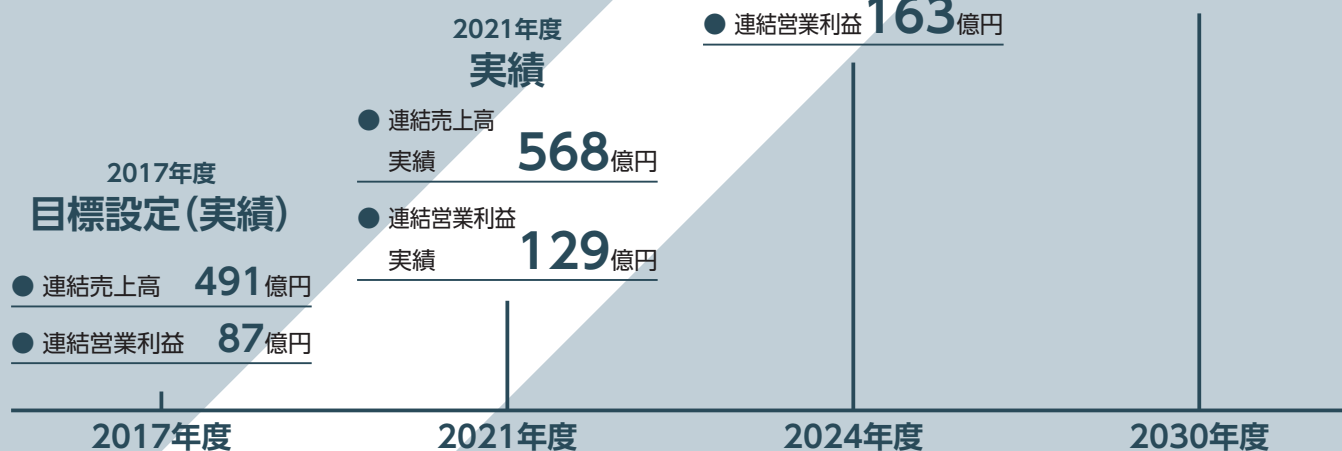


長期経営ビジョン「VISION2030」と 長期経営計画の進捗状況

ダイセキグループでは海外メジャーと競り合える規模と内容を備えるために、2018年度に策定した長期経営ビジョン「VISION2030」に取り組んでいます。

長期経営ビジョン 「VISION2030」

「VISION2030」に基づき、3倍の売上高、3倍の営業利益を達成し、業界の太陽(SUN)を目指す「33(サンサン)プロジェクト」を推進しています。



ダイセキグループの基本戦略

国内エリア戦略

- 既存事業所間連携による希薄なエリアの濃密化
- 新規事業拠点開発により新規エリアへの進出

海外エリア戦略

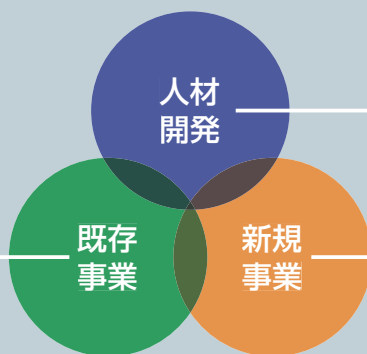
- アジア市場への進出を念頭に市場調査を開始

技術・設備開発

- リサイクル率の上昇
- 新規技術・設備導入による取扱品目の拡大

グループ戦略

- 人材交流を含めた連携強化によるシナジーの拡大



職場環境

- 働きがいも成長も望める職場環境
- ジェンダーフリーな職場環境

人材育成

- グループ企業間の人材交流の活発化
- 教育制度の拡充
- 新規プロジェクト社内公募制の実施

M&A戦略

- 「環境」「リサイクル」をキーワードとするM&A

アライアンス戦略

- 異業種も含めたアライアンスの推進

VISION2030の目標達成に向けて、 会社の基盤を整備しながら取り組みを進めています。

- 事業統括本部内に経営企画室を設置し、VISION2030に関する情報共有と進捗管理
- 新しいビジネスを開始するために必要となる人材の採用・教育の強化
- 働きやすく生産性の高い職場づくりのための職場環境改善活動

長期経営計画の進捗状況

① 3つの新規事業拠点の開設

2024年度以降に広島地区に新工場を開設する予定です。既に土地は取得したため、事業に必要な許可取得の手続きを進めています。そのほかの2拠点については南関東地方と東北地方を中心に検討を進めています。

② 3つの主力事業の確立

サーキュラーエコノミーやカーボン・ニュートラル社会への変化を見据えながら、新規事業を立ち上げて将来の主力事業へと成長させていきます。具体的な内容は検討中ですが、3つの主な新規事業の立ち上げを目指しています。

③ コア事業国内シェア30%

2021年の廃液の中間処理におけるダイセキの国内シェアは廃油10.5%、廃アルカリ6.8%、廃酸4.6%です。①の新規事業拠点の開設によるシェアアップを図るとともに、温室効果ガス排出量が少ないダイセキの中間処理を効果的にアピールする営業活動を行います。

2017年度の3倍の売上高・3倍の営業利益、業界の太陽(SUN)を目指す

目標とする経営指標とバリュードライバー

経営指標	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業利益率単体25%以上、連結20%以上 ● 連結ROE 10%以上(2030年度目標15%) ● 増配・株式分割等により配当性向を徐々に引き上げる 		
バリュードライバー	売上高成長 <ul style="list-style-type: none"> ● 東日本、西日本のシェアアップ ● 周辺事業の拡大(子会社、M&A) 	収益性向上 <ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル技術の向上 ● 変動費・固定費の管理によるコスト削減 	効率性向上 <ul style="list-style-type: none"> ● オペレーションの向上 ● 設備投資、M&A、株主還元(増配・自己株取得等)による資本効率の向上

バリュードライバーによる価値創造

今後の計画

単位：億円

年度	2017	2021	2024	2030
連結売上高	491	568	690	1,500
連結営業利益	87	129	163	250